

パルティ news 9

発行 いせ市民活動センター

伊勢市松浜1丁目2番29号 (旧伊勢シティープラザ南館)

TEL0596-20-4385 FAX0596-20-4386

Eメール: kkc@ise-net

URL: http://kkc-ise.net

発行 NPO法人 いせコンビニネット

パルティ
ニュース



※未成年者のご利用はお断りしておりますが、保護者の責任の下でご利用いただけます。



2月18日北館シティープラザで高校生によるロックバンドのライブがありました。出演者、観客すべてが高校生です。

自分たちで企画をしてコンサートをしたかったとか、チケットを作り、各高校を回り、声をかけていったそうです。約70人の観客を前に、また始めて数ヶ月しかたないという2組のバンドが交代で演奏していました。堂々たるもの。歌も演奏も素晴らしいものでした。代表の方は以前にヒップホップダンスでここを利用した時、開場はここと決めていたそうです。幅広い年齢層でセンターの利用が定着しているのを実感しています。

「ロックバンドライブ」がありました。



2月26日北館シティープラザで、皇學館大学教授・岡田登氏を講師にお招きして、「自分のまちを愛するまちづくり」の一環として神宮参道発展委員会・懇話会・たおやめ会による「外宮さんのこと講演会」がありました。

1階ホールは椅子が置けないほど約180人のお客様で一杯になり、外宮や伊勢への関心の高さを伺うことができました。

名前の由来や儀式の数々、へーそうだったのかと初めて知る事が多くありました。思えば伊勢は日本の文化、歴史、もうものの発祥地です。うね、誇らしく思います。秋にも計画されているようですので、ご興味のある方は是非ご参加してみたいかができるでしょうか。

「外宮さんのこと講演会」

がありました。

シティープラザでのイベントから、幅広くご利用いただけます！

CONTENTS

2p◆リユースPC寄贈プログラム

◆伊勢市防災しみの会

3p◆登録団体/NEW!

4p◆伊勢市まちづくり市民会議

◆お木曳参加!

一日神領民サポートボランティア、5/6/9/アフリーお木曳

6p◆スタッフレポート

◆パルティ就労体験実施

7p◆「PANDAファンド」報告

8p◆センター日記より

企業のCSRって聞いたことがあるでしょうか。同じ横文字でNPOという言葉も認知度が低くて(宗教団体ですか?)と言われたりすることもあります。そればかりでなく、CSRというのは「企業の社会的責任」のことです。公益サービスを提供している行政や民間、市民活動団体(NPO)だけでなく、企業が経済活動以外に社会や環境などのことについて責任を持つべきであるという考えから生まれました。

さて、よく工場などで見かける「2011年環境」などという文字。これも一般の市民からすれば異国語に見えていることでしょう。この言葉の意味はというと、ISO26000シリーズというのが品質マネジメントシステム関係の国際標準規格のことで、ISO10000シリーズは環境関係の国際標準規格のことで、両方ともCSRのための国際標準規格ということになります。工場の中に書いてある言葉の意味は、「私達は、この国際標準規格にのっとっているから信頼できる会社です」ということとなります。そして新たに発行されるISO26000シリーズには企業の

センター・フォー・ユス

「企業の社会貢献」の時代のNPO

いせ市民活動センター長 満田宗昭

社会貢献が入ってくるようになったのです。

つまり、NPOなどと協働して社会貢献を行っていくことなどが国際標準規格となっていくということですね。ということは、NPOは企業と一緒に何らかの形で社会貢献活動をしていく必要があると言われていくのではないのでしょうか。

さて、今までどちらかというと自分勝手に唯我独尊で社会貢献活動や公益サービスの提供を行ってきた市民活動団体(NPO)ですが、今後は企業というパートナーと一緒に持続可能な社会を創るため、公益サービスや社会貢献活動を考えていく必要も出てきたということになります。

これをチャンスととらえて企業と同等に活動ができる市民活動団体(NPO)となっていくか、あくまでも唯我独尊で活動していくかが分かれ道になるところだと思います。どちらがいい悪いはないと思いますが、少なくともどこかにふたがって活動をするよりも企業にも行政にも同等な関係で活動が展開できる市民活動団体(NPO)でいたいものです。

NEWS!

第1回 いせ&まつさが eparts リユースPC寄贈プログラム

市民活動団体に再生パソコンを寄贈

交流イベント&寄贈式開催●平成19年1月27日(土)



「リユースPC寄贈プログラム」は企業からのリユースPC(パソコン)を非営利組織・ボランティア団体・高齢者グループなどの市民活動団体・NPOへと無償で寄贈し、その情報化を支援するプログラムです。

いせ市民活動センターでは、平成17年からNPO法人epartsと連携し、寄贈活動をスタート。今回から、松阪市市民活動センター(Mブリッジ)と連携し、寄贈地域を伊勢及び松阪周辺に拡大しました。

寄贈対象は、伊勢及び松阪周辺で活動をしている公益性を持つ活

動(ボランティア活動)を行っている団体で、予算などの諸事情により情報化が遅れている団体。厳正な選定の上、平成19年1月27日(土)に、結果発表と進呈式を「いせ市民活動センター」で行いました。今回は応募団体すべてにPCが寄贈され、センターとしても嬉しく思います。

当日は、結果発表と進呈式と共に開催されたパネルディスカッションで4人のパネラーの情報発信するときの強い思いや工夫等を聞くことができました。

2分間スピーチでは8団体がテーマに沿って発表しました。2分を知らせる「チャイム」を気にしながら、どの団体も興味深いスピーチをしてくれました。

●寄贈台数 合計 20台程度
Windows&Officeコース(3台セット)4組
計12台
Windows&Workコース(1台セット)8台



★パネルディスカッション テーマ「情報発信のコツ?」 成功例プロの技から学ぶ」

地域版リユースPC寄贈プログラムの一環として市民活動団体さんに情報発信について考えていただこうと、パネルディスカッションを開催しました。民営となった三重県営サンアリーナの広報戦略、和紙を使った写真という斬新なアイデア、地域のFM局の立ち上げなどが話され、NPOにとって情報発信ツールはたくさんあるということがわかりました。しかし、情報発信は人があってこそ、人と人とのつながりの大切さを学ぶことのできるパネルディスカッションとなりました。

コーディネーター:
浦田宗昭(いせ市民活動センター)
パネラー:
荒川治衛(株式会社スコールチャーム)、大西祐紀(フォトグラファー・ライター)、吉野太郎(NPO法人ひょうごんテック、FMわくわく)、会田和弘(NPO法人eparts)

伊勢市防災しみんの会

◎平成18年度にはじまった取り組みです。

今年の伊勢防災しみんの会は、伊勢市の防災力UPを市民の視点から企画立案し、実践を始めようという事で、まずは子どもたちの防災力UP、教員の防災力UP、あわせて復興拠点としての学校の役割も考えていこうという流れでした。

基本のスタンスは、市民ボランティアや市役所の担当者、福祉関係の担当者の方々と、定例会でゆるやかにアイデアを出し合い無理なく連携し、信頼関係を深めていくこと、そして、事業を行う学校の方々と、できる限り企画の根っこから一緒に関わらせていただくことで単なる「防災事業をしてくれる一座」にならないように。

少なくとも私たちのスタンスをできる限り理解していただくように心がけたこと、でした。

特に伊勢市立城田中学校では、本格的にしみんの会メンバーの得意な分野をうまく組み合わせて、大地震が来たらどんな被害が起こるのか?自分たちに何ができるのか?を切実に、具体的に伝える総合的な防災啓発事業のモデルを創りました。

防災力アップは急務です。来年度も積極的に進めていかなくてはなりません。ご協力をお願いいたします。



●取り組みの趣旨

この取り組みでは、子ども達や教員などを対象に災害時の対応についてのことや防災の考え方を身に付けてもらうことを考えています。防災講座の実施は防災力だけではなく、災害に備えるための教育を通して自立性や協調性、他人を思いやる心などが子供たちに養われたりすることになると考えています。

登録団体 紹介！

いせ市民活動センター
登録団体リスト

NEW

いせ市民活動センター南館(パルティ)の会議室や、機材の利用には、団体登録が必要です。登録できるのは、公益活動を行う市民活動団体(個人でも可)。市民活動団体とは、ボランティアグループや、NPOなど、公共に利益を与える活動をしている団体としています。

あなたの団体、サークル・グループは
パルティに登録していますか



まっほ〜す

パルティでは、市民活動の支援事業や、広報紙やケーブルテレビ、ホームページなどを利用して広報活動をしており、みなさんの素晴らしい活動を多くの方に知っていただくためにも、ぜひ、ご登録ください。

登録は無料！

3月20日現在、102団体が登録しています

※当センターに登録・利用頂く
対象としているのは、

- 伊勢を拠点として活動している市民団体
- 伊勢市民が参加している市民活動団体
- 伊勢市を拠点として
市民活動・公益活動をしている個人

活動内容として団体の場合は、

- ・公益活動を継続的に行っていること
- ・3人以上の構成員を有していること
- ・規約または会則を有していること
- ・多数決の原則が行われていること
- ・代表者の権限が明らかなこと
- ・会計簿を備え、その適切な処置が行われていること
- …などが、利用規程に明記されています。

三重県心理リハビリテーション伊勢支部

重度の障害児(者)が指導者のもと、親子で機能回復訓練をしています。第1日曜日は、月例訓練会。年1回、1週間宿泊集団集中訓練会があります。

三重マジッククラブ

マジックの習得と技の向上のための研修をしながら、各施設の間、地域イベントに参加し、マジックを通してコミュニケーションを図ることを目的としています。

国際協力ボランティアグループ スフィアー

カンボジアに絵本を届ける活動、フェアトレード商品の紹介、国際交流イベントへの参加等を行い平和かつ公正な国際社会形成に貢献することを目的としています。

宮川流域案内人の会

宮川流域エコミュージアムの推進に寄与するため、宮川流域案内人相互の連絡、協働を図るとともに流域案内人の資質向上を目指しています。

三重県地域活動栄養士協議会

地域のあらゆる年齢層の人々の健康作りに寄与することを目的に、栄養や食品の正しい知識や「食の大切さ」を啓発し、生活に密着した栄養指導をしています。

さわやかパソコン同好会

パソコン操作の習熟活動を通じ、会員相互の親睦と個々の趣味範囲の拡大を図りながら地域へのパソコン普及に貢献することを目的としています。火曜日の午前中、いせトピアにて。

★登録団体の活動を広報紙や
ケーブルテレビで紹介しています

いせ市民活動センターでは、「広報いせ」やケーブルテレビ(ITY)で市民活動の情報を発信しています。パルティのイベント情報や、登録されているたくさんの市民団体の素晴らしい活動を、もっと多くの方に知っていただきたいと思っています。みなさんもぜひ、番組や広報紙でごらんください。

NPO活動についてのご相談は、
いせ市民活動センターの
「なんでも相談」で受付けています。

※ご予約ください



南館 パルティいせ

の登録団体が利用できる施設・設備について

★利用料金は、下記のとおりです。

- ◆会議室1 100円/時間 20名で利用できます
- ◆会議室2 100円/時間 8名で利用できます
- ◆会議室3 100円/時間 4名で利用できます
- ◆ブース ※現在空いているブースはありません。
- ◆貸しロッカー 200円/月
- ◆印刷機 マスター 40円/(1枚) インク20円/(50枚)
※印刷物を1部提出してもらいます。用紙は持ち込みです。

登録団体以外の方も利用できる設備

- ◆パソコン 50円/時間 主にインターネットにお使いください。
- ◆コピー 10円/(1枚) 用紙サイズに関係なく10円です

市民一丸となって、伊勢のまちづくりを！ ～まちづくり市民会議が設立されました～

特集・伊勢のまちづくりは市民参加で。

みんなのまちの計画を創ります

平成19年2月18日(日)に「まちづくり市民会議」の設立総会が伊勢商工会議所で開催されました。この会議は、伊勢市総連合自治会、伊勢商工会議所、いせコンビニネット、伊勢市役所が中心となって、設立した会議で、市内のさまざまな団体や個人が参加し(公募会員40名を含む、総勢138名)、これからの伊勢のまちづくりを話し合っています。

この会議ではまず、これからの伊勢のビジョン(みんなのまちの計画)を創り上げていきます。ビジョンができあがった後は、ビジョン達成のためにそれぞれの団体や個人がどのような活動をしていくかを話し合っていきます。さらに、ある程度時間が過ぎた後に、目指したまちの姿に近づいているかを確認し、もっとよいまちを目指すには何をすれば良いかを話し合っていきます。

会議は6つの分科会から構成されており、18日の設立総会後に各分科会に分かれて第1回の分科会会議が行われました。これから、市民一丸となって伊勢を盛り上げていく会議を目指していきます。

6つの分科会

- | | |
|------------|-----------|
| ①自治と行政のしくみ | ④生活・健康・福祉 |
| ②人権・教育・文化 | ⑤防災・防犯 |
| ③環境 | ⑥産業 |

3、4月の市民会議

- 第1分科会 自治と行政のしくみ
4月17日(火)午後7:00～
伊勢市役所東庁舎4階4-3会議室
- 第2分科会 教育・人権・文化
4月15日(日) 午後1:00～
伊勢市役所東庁舎4階4-3会議室
- 第3分科会 環境
4月24日(火) 午後7:30～
伊勢市役所東庁舎4階4-2会議室
- 第4分科会 生活・健康・福祉
3月24日(土) 開催
- 第5分科会 防災・防犯
4月21日(土) 午前9:00～
伊勢市役所東庁舎4階4-3会議室
- 第6分科会 産業
3月24日(土) 開催

市民参加のポイント・コラム

まちづくりは行政がするものという考え方ではなく、行政も民間企業も、そのまちの住民も一緒に考えて進めていくものと捉えられることが一般的になってきました。そこで重要課題となるのが「地域の合意形成」→同じ方向を向いて進んでいくためのビジョンの共有ということです。市民の取り組みや市民の考えを反映させるために「市民会議」などでは、共通認識をもつために「ワークショップ」といわれる会議の手法が導入されることがあります。分かりやすいルールを設け、参加者の意見が公平に出しやすいうり方をいろいろ工夫して進めていきます。今回、まちづくり市民会議では市役所の若手職員のみならず、そんなやり方もいろいろ勉強して取り組んでいただいているようです。

設立総会の様子



分科会の内容は公開しています

設立総会では、四日市大学の岩崎教授から、「新しい自治のかたち」という題名でお話をいただきました。参加者のみなさんは、熱心に聞き入っていました。設立総会の後に開催されました第1回の各分科会では、分科会ごとにかなり雰囲気違ったようです。会議の目的やこれからつくる計画について疑問・質問が集中した分科会や、優先すべき課題が提案された分科会もあり、活発な意見が交わされました。

各分科会の会議の結果は、伊勢市のホームページで公開(現在作成中です)、各分科会の会議内容を「ニュースレター」としてまとめて、市役所の窓口、市民活動センターなどに置いていきますので是非ご覧下さい。

今後の市民会議の予定ですが、各分科会、月1～2回を目安に開催していきます。開催日は、ホームページに掲載しています(会議は傍聴できます。直接会議会場へお越しください)。

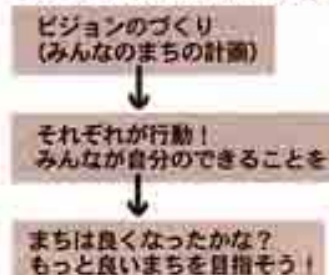
次回の会議内容の大半は、「知ろう、語ろう、伊勢のこと」です。このテーマで、伊勢の現状をみんなで話し合い、確認していきます。今後のまちづくり市民会議に是非ご注目ください！

●問い合わせ／伊勢市まちづくり市民会議総括事務局
(伊勢市財務政策部行政経営課) TEL0596-21-5510

分科会の様子



まちづくり市民会議で話し合うこと



伊勢のお木曳、こんな参加の仕方もありますよ!

一日神領民 奉曳 サポートボランティア

5月5日
～6月3日の
金・土・日の午前中

参加しませんか?

一日神領民サポートボランティアとは、全国から訪れる一日神領民の「高齢でサポートが必要な方」「身体の不自由な方」などに無事に奉曳、参拝していただくためにサポートするボランティアです。

「伊勢に来てお木曳に参加して良かった、また来たい」と思って頂くことが、一日神領民の受け入れに関わるボランティア市民の共通の思いです。

昨年、約3万5000人が一日神領民として、お木曳に参加されました。全国から訪れる参加者は、高齢者が多く、また身体に障害のある方、長旅で体調がすぐれないなどサポートが必要な方もいらっしゃいます。昨年の受け入れを経験し、特にそのような方のサポートに重点を置いたサポートをできれば、という思いを持った有志が、ボランティアによるチームを編成することになりました。

お木曳は、伊勢のまちづくりにとって無視できない「市民参加の民俗行事」です。参加の場が見つからない、という市民も多くなっている現代、できることがあれば参加したい、と思っている方も多いのではないのでしょうか?

いわば、訪れるお客様を歓迎するという「お木曳参加」というわけです。そんなもてなし仲間に参加してみませんか?

●参加の方法

一日神領民奉曳が開催される14日間で、都合の良い日に申し込んでいただき、ボランティア・シフトをくみます。1人何回でもかまいません(多い方が助かります)。「サポート」の必要がある一日神領民がいたら、奉曳に同行し、外宮までサポートします。

道中は「エンヤ」の声かけと笑顔は必須です。一緒に楽しむことも「もてなし」です。外宮北御門前の「もてなし広場」に窓口を設置します。参拝にあたってサポートが必要な方や、その場でのご案内などをします。できれば「お木曳」について簡単な説明ができれば、よりベターです。

●ボランティアに参加できる人【対象者】

- ・伊勢市内外を問いませんが、主旨を理解し、リーダーに従って頂ける人
- ・説明会に出ることができること(必須)
- ・未成年の場合は、保護者の同意を
- ・ハッピーは自己負担で購入(1000円)していただきます

※特に資格は必要ありません。詳しいサポート内容については説明会で。
(サポートボランティア準備会)

興味のある方は、覗いてみてください ボランティア説明会

●開催日時

4月27日木曜 午後7時～

●会場

伊勢商工会議所中ホール

主催 一日神領民奉曳サポート
ボランティア準備会

●問い合わせ/ご運営対策事務局

tel:0596-25-5215

tel:0596-29-0596



いせ市民活動センター「パルティ」に
資料がありますので、おたずね下さい。

その中でも特にこの日。
ボランティア参加強化日です!

5月6日(日)は、バリアフリーなお木曳(一日神領民参加)。

介助・サポートをする、ボランティアを募集しています

NPO法人伊勢志摩バリアフリーツアーセンターでは、史上初と思われるお木曳のバリアフリーに挑戦、「一日神領民」として、神宮の車の1台を奉曳します。

お木曳に参加してみたいと思う気持ちを持つのは、障害者、高齢者、健常者に変わりありません。でも、一般の一日神領民のペースにあわすことができるかな? という不安や、心配事が多い方たちのために、運営対策事務局のご理解をいただき、5月6日(日)に行くことになりました。

初めてということもあり、課題も山積みですが、参加者み

んなの力で車を曳き、バリアフリーお木曳を成功させたいと願っております。現在、バリアフリー一日神領民の参加者募集と、参加者たちの介助・サポートをしていただく、ボランティアを募集しています。

(NPO法人伊勢志摩バリアフリーツアーセンター 野口あゆみ)

バリアフリーお木曳介助ボランティアの説明会

■4月17日(火)pm2:00～ 商工会議所中ホール

■4月19日(木)pm7:00～ ハートプラザ御園

詳しくは伊勢志摩バリアフリーツアーセンターへ TEL0599-21-0550 <http://www.barifuri.com/>

スタッフレポート



パルティのスタッフから
12月～3月のパルティ報告です！



垣崎です



静岡の三島市にある 「NPO法人リベラヒューマンサポート」 での研修

通称「リベラ」というこのNPOは不登校・ひきこもり・障害のある人にカウンセリングや教育をして自立の場を作ってやるという活動団体です。我が浦田センター長は「リベラ」に在籍されて不登校生徒の相談や教育をされ、またNPO法人立ち上げにも尽力されたそうです。

ひきこもり・障害のある人等、社会的にたいへん難しい問題に取り組まれてたくさんの児童・生徒を高校卒業とか大学入学等の実績をあげる「リベラ」。今年は新たに、障害者の就労・雇用を生み出す事業所を目的としたNPO法人を設立して大きく成長しようとしている活力ある団体でした。



青木です

NPO支援 ブログ講習をして

昨年2月より、市民活動団体さんに対してブログ講習やパソコンサポートを行ってきました。ブログは、約10団体の方に講習をさせてもらいました。講習をしながら自分も勉強するような形になってしまいちょっと反省しています。

ブログには、活動の紹介や、会員の情報交換、イベントの紹介などを載せています。立ち上げたブログの記事の更新を継続して活動の情報発信に役立ててもらえば嬉しいです。

また、これからいろいろな方面から市民活動のお手伝いができればいいと思います。



酒徳です

研修生を 受け入れ



三重県で行なわれている「若者無業者就労体験プログラム」で就労体験者を受け入れています。無業者というとなぜ働かないのだろうとまずこの疑問が先に出てきますが、実際お会いしてみると、さまざまな悩み

や事情を抱えており、それでも、頑張りたいという気持ちがあることにびっくりしました。腰痛で悩む彼は「働く体験ができて嬉しい」、また、彼女は「人の役立つことをしたい」と話してくれました。

支援はいろいろあるけれど、彼らの気持ちに寄り添い、働くことや生きることについて一緒に考えていく必要があるのでは。センターがそういう場所の一つになれるといいなと思っています。

パルティ就労体験、実施！

県の委託事業で特定非営利活動法人地域開発研究機構さんが若者就労支援の一環としての若年無業者就労体験プログラムを実施しています。

これを受けて、いせ市民活動センターでは5人の就労体験の研修生を受け入れました。研修生の皆さんも少しずつ仕事にもなれてきたようです。今後も就労体験なども受け入れて生きたいと思っています。

三重県若者就労支援研究会

NPO寺子屋プロジェクトさんが三重県と協働で若者の就労支援のためのネットワークを構築しています。おしごと広場みえ、三重県勤労・雇用支援室、三重県NPO室、こころの健康センター、三重県教育委員会、自閉症・発達障害支援センター、若者就業サポートステーション・みえ、県社会福祉協議会、市民ネットワークすずかのふどう、津市市民活動センター、松阪市市民活動センター、W.T.Aまちづくりセンター、有限会社アイデアルストーリーズさんなど公的機関や中間支援のNPOが中心となって若者就労支援に向けた共通認識を形成。様々な理由により無業の状態にある若者をひと括りに「ニート」として排除することのない社会の実現を目指すため、ネットワークを構築しました。いせ市民活動センターも協力して、実際に当事者の行き来もしている有機的なネットワークとして活動を展開しています。今後の発展に期待したいです。

伊勢版PANDAファンド

企業の社会貢献と

個人の「寄付」の流れをつくります

スタート報告

平成19年度、PANDAファンドがスタートしました。

23社がご協力してくれまます。企業さんの都合で名前を載せられないところもありますが、すでに少しずつ19年度の活動に対する寄付金も集まっています。まだまだ寄付金も集まるとおもいます。

寄付先団体と寄付金 平成18年度3月15日現在

NPO法人三重みなみ子どもネットワーク	3,600円
三重県心理リハビリテーション伊勢支部	0円
チア・アップ・ママ	2,000円
厚生総合型スポーツクラブ	1,200円
NPO法人伊勢志摩バリアフリーツアーセンター	4,200円
NPO法人ライフアカデミー	1,200円
NPO法人芝生の夢倶楽部	4,000円

協力企業 (五十音順)

平成18年度3月15日現在

- ギフトショップなんせい
- セイフティージャパン
- 南勢オートリース株式会社
- 南勢糧穀株式会社
- 南部自動車学校
- ビジネスホテル ダンケ
- 有限会社藤原保険事務所
- 有限会社角屋紙店
- 有限会社コムデック
- 有限会社角田保険事務所
- 有限会社ツジ
- 有限会社東海ネクス
- ユタ紙工有限会社
- ワタライパッケージ有限会社
- 丸八段ボール有限会社
- 八木段ボール株式会社
- 有限会社南勢建築設計
- 有限会社八木物流

PANDA
ファンド
の
しくみ

個人の寄付を
企業がとりまとめる
システムです

●企業の役割:

社員の申告に従って、給料から天引きをする。

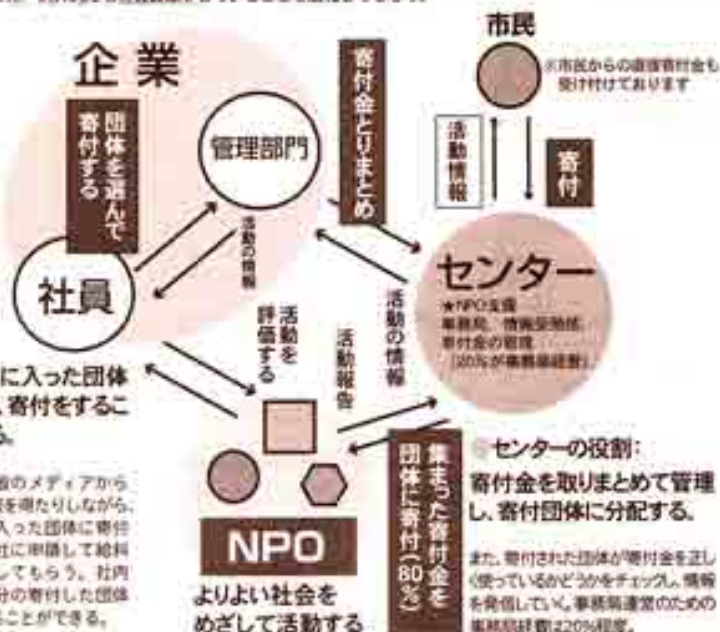
例えば月額500円という感じで天引きしたお金と希望団体を整理して、センターに引き渡す。

★社会貢献として事務負担をする。

また、社内の広報などで、NPO情報を発信して、社員に理解を促してもらう。

また、対外的にも社会貢献をしていることを広報してもらう。

市民活動を
応援します!



センター日記より 2006/11~

スタッフがパルティで起こった事件?。出来事、訪問者などを日記に書いて、ホームページに掲載しています。

■イベント多彩。ヒモ多彩?

11月04日

センターの前の広場では、愛媛県からみえる「西条のどんぶり」をお迎えするためのデントが立てられています。時々、内宮行きのバスを待つ観光客の列もみられ外宮も賑わっています。

11月12日

伊勢市2日目です。昨日は雨でしたが、今のところ天気は大丈夫そうです。市街は楽しいことが、たくさんあります。パルティマーケットも金子眼科さんの駐車場を借りてお店を開いています。

11月13日

車椅子のサックス奏者渡部昭彦さんをおよびしてのチャリティコンサートです。今回はチャーターカーの活動に寄付しようと思います。

12月03日

今日、北館シティープラザの2階多目的ホールで「藤世会」主催の日本舞踊の「おさけい会」がありました。金屏風の前で踊る日本舞踊はしなやかで美しく、まさに「日本の文化」でした。

12月09日

今日はアートチャリティコンサートです。バザーや造型教室もやっています。それとアート展示、バンドにダンス、以上と盛り沢山。

12月12日

今日のパルティは、津アストで行われている若者社労支援研究会にやっています。今日は第6回目です。ところで、二十ってよく言うけれど、どんな人が二十なのか一般の市民は結構分かっていないんです。パルティもそのひとり、頑張って考えています。

12月16日

今日は、インターネット利用の方が多い日、日は会社がお休みなので普段からも多いのですが、こういうふうに重なったのは珍しい。英語、中国語、日本語が入り乱れています。結構、会話しています。なんとなかなるもんですね。

1月09日

なんだか嬉しい。ここ2、3日、センターはたくさんの人で賑わっています。新年の挨拶・館のご利用・相談と短い時間で申し訳ないと思っております。ありがとうございます。

今日は、退職されたというご夫婦がお越しになりました。何かをやってみたい、なにかと関わりをもっていたいとのことでした。センターのことを説明させていただき、機関誌をお渡ししました。団体の世代の退職、リタイア、伊勢が楽しくなりそうな気配がします。

1月20日

あっという間に一日が過ぎていきます。ボランティアをされている方たちはどちらが本業かわからないくらい時間を精一杯利用しているようです。一日24時間では足りないようです。私も最近では1週間が3日くらいにしか感じられなくなりました。充実していると言えそうですが、気付いたらいつの間にか一週間経っていたのがとても悲しい。

■2月は確定申告会場に...

2月02日

所得税の確定申告が始まる。今、所得税の確定申告書の作成が北館シティープラザで行なわれています。朝、8時15分頃には4、5人の方が、来られています。雪の強い日や今日のような寒い日等、天気の悪い日は、見ていてとても辛いです。北館は税務署の準備のため、午前9時に開館となっておりますのでご了承ください。また、お時間があれば、是非、南館(パルティ)に寄っていただきたいと思っています。

2月04日

センター一階のフリースペースでブログ講習をやっています。センターでは、登録団体の支援活

動としてパソコン(ブログ)講習を行っています。決められた日や時間には都合のつかない団体に、対して、都合のつく時間に対応しています。今日は、2団体の方がみえました。たまたま、中国から来られている方たちと同席になりました。ブログをしながら、中国語を教えてもらい、発声練習をする等、和やかな雰囲気です。他の登録団体の方々もいつでも都合のつく時間にご利用ください。

2月12日

今日は、暖かい天気のおかげで楽しい出会いや嬉しいお客様がありました。ボランティアをやりたいと思って来られた若い男性の方。半年前に「阪ボラ」で初めてお会いして、久しぶりに再会した授産施設の職員の方。パルティマーケットを見学に来た女性の方。楽しいひと時をありがとうございました。また、近くまで来られた時は寄っていただけたら嬉しいです。

2月17日

知っています?この2月20日にRから「青春きっぷ」が発売されるそうです。センターにお越しになった女性の方からとっても話を聞きました。いつか行ってみたいと思っていた所がある。いつかいつかいつかと思いついていけなかった。でも、今年は実現したいと友人に相談したところ、それではこの「青春きっぷ」を買って、ゆっくり一緒に旅行をしよう、ということになったそうです。「これから私も青春しなくては」と満面に笑みを浮かべながら話してくれました。夢が実現できそうで良かったです。でも、不思議ですよね。「青春」言うだけでもなにかしら気持ちが弾んできます。今が青春きっぷもそう思っています。

2月21日

今日は伊勢市の監査が入りました。指定管理者としては万巻会館といせ市民活動センターが対象になりました。きっちり会計をしていたので私たちは特に何も問題ありませんでしたが、NPOによっては税理士さんがいいこともありますよね。気を付けたほうがいいかもしれません。お金の出入はしっかりしないといわね。

いせ市民活動センター

パルティいせ



伊勢市岩洲1丁目2番29号
TEL 0596-20-4385
FAX 0596-20-4386
[Email] skc@ise-net

ホームページも、見てね!

<http://skc.e-ise.net>

●貸し会議室の空き状況もチェックできます

■休館日
毎週水曜日
(その日が祝日に当たるときは、翌日以降の休日でない日)

12月29日~1月3日

■開館時間
午前9時
~午後10時

市民活動を支援するための
寄付を受け付けています

いせ市民活動センターは、NPO法人いせコンビニネットが指定管理者として、管理運営しています。市民公益活動を支援するために、センターの売り上げ、行政からの助成金、企業や個人からの寄付金を利用させていただいています。

市民活動支援事業に賛助をいただいています!

賛助
企業

- 南部自動車学校
- イセット 株式会社
- 有限会社 東海ネクス
- 株式会社 鈴工
- 有限会社 南勢建築設計
- 財団法人 中部電気保安協会
- 三重県建築士事務所協会伊勢支部
- セッツ設備
- 杉山設備(株)
- 有限会社 大玉浴材
- 中南勢清掃 有限会社
- 株式会社 坂谷自動車工業
- 有限会社 コムデック
- あんず会 まつもとクリニック
- 有限会社 ハクシン
- 芝生の夢倶楽部
- 株式会社 ギャーとら

いせ市民活動センター(パルティ) 前3号 2007年(平成19年)3月25日発行 【編集協力】NPO法人伊勢市NPOネットワークの会